

3 適用条件

本工法は金属サイディングを使用し、以下の条件を満たす建築物に制限します。

| | | | |
|-----|----------------|--------|----------------------|
| 構 造 | 鉄骨造（高さ30m 以下）※ | 外装材 | センターサイディング（NS型（※）限定） |
| 部 位 | 外壁（非耐力） | 外装材施工法 | 縦張り 金属胴縁工法 |

※建物にかかる風圧力に応じて、補強用ビス(P.150) を使用してください。耐風圧性能などの詳細については最寄りの弊社営業所までお問い合わせください。

※芯材：イソシアヌレートフォーム(HFO)

4 耐風圧性能

金属胴縁を使用する本工法の耐風圧性能（負圧の破壊値）は、以下のとおりです。
設計に際しては適切な安全率を見込んでください。（推奨安全率1.6以上）

| 型 名 | 柄 名 | 金属胴縁（@610） |
|-----|-------------|------------|
| NS型 | ネオスパン 光 | -1800 |
| | ネオスパン プレミアム | |

5 使用可能サイディングと下地基準

金属サイディングおよび施工法は、原則として下表とします。

| 躯体構法 | 胴縁 （縦胴縁） | 通気胴縁 （横胴縁） | サイディングの 張り方向 | 留付方法 （施工） | 使用可能なサイディング |
|----------------|----------------------------------|--------------------|-----------------|-----------------|--------------------------|
| 鉄骨造 （外壁非耐力） | 軽量形鋼 （C形鋼または角形鋼管） @610mm以下 | 金属胴縁15 @610mm以下 | 縦張り | 金属胴縁へ ビス留め施工 | NS型 ネオスパン （光 / プレミアム） |

6 各部の規定・施工

■胴縁の施工

●材質・寸法 鉄骨胴縁を下地とします。鋼材は下表に示します。

| 規 格 | サイズ | 方 向 | 胴縁間隔 |
|----------------------|---------------------|---------------------------------|---------|
| JIS G 3350 一般構造用軽量形鋼 | C-100×50×20×2.3mm以上 | 縦胴縁 （金属胴縁：横方向 サイディング：縦張り） | 610mm以下 |
| JIS G 3466 一般構造用角形鋼管 | □-100×50×2.3mm以上 | | |

■面材の施工

●屋外側被覆材の施工※

| 被覆材 | 規 格 | 厚 さ | 留め付け |
|--|------------|------------------------------|--|
| 強化せっこうボード （防水・防カビタイプ） 被覆材は強化せっこうボード（防水・防カビタイプ） を必ず使用してください。 | JIS A 6901 | 下張り：21mm以上 上張り：15mm以上 | 固定用材料：鉄骨用釘またはドリリングタッピンビス 下張り：釘φ2.5×38mm以上、ビスφ4.0×40mm以上 （留付間隔：鉛直方向303mm以下、水平方向610mm以下） 上張り：釘φ2.5×57mm以上、ビスφ4.0×55mm以上 （留付間隔：鉛直方向455mm以下、水平方向610mm以下） |

鉄骨用釘は施工前に試し打ちを行い、空気圧等を調節することで釘頭がせっこうボードにめり込まないように注意してください。
上張りのせっこうボードは下張りのせっこうボードの目地と重ならないように、ずらして張り付けます。
せっこうボードを施工後2週間以内に防水紙を施工してください。

※下張りと上張りの強化せっこうボード（防水・防カビタイプ）の横目地は必ず 100mm以上ずらしてください。